

## 平成 26 年度 飯田西中学校区 小中連携・一貫教育 実施計画

学校名 飯田西中学校 生徒数 1 年 103 名 2 年 93 名 3 年 89 名 計 285 名  
職員数：県費 24 名 市費 4 名 非常勤（内数）0 名  
丸山小学校 児童数 1 年 102 名 2 年 87 名 3 年 106 名 4 年 94 名 5 年 91 名 6 年 114 名（99）  
計 594 名  
職員数：県費 32 名 市費 4 名 非常勤（内数）3 名

### 1 研究課題

ふるさとを愛し、ふるさととともに生きている自分を見つめ、ふるさとの未来と自分の夢を主体的に創造していくことができる児童・生徒の育成に向け、キャリア教育を中核とした小中連携・一貫教育の実践を推進する。

### 2 目的

- (1) 小中一貫したキャリア教育を推進し、「ふるさと意識」「自己肯定感」を育むとともに、「学習意欲」の向上に努める。
  - ①地育力を活用した「かざこし学習」（ふるさと学習）の実践を充実させる。
  - ②教科等に於けるキャリア教育の実践を推進する。
- (2) 「結い交流プログラム」（児童生徒の交流）や「教職員結いプログラム」（教職員連携プログラム）を充実させることを通して、児童の小学校から中学校へのスムーズな移行を図るとともに、不登校やいじめ問題、生活指導等の解消と防止を図る。
- (3) 地域や家庭と連携したキャリア教育を推進し、「人間関係形成力」や「地域貢献意識」を育む。

### 3 実践内容

- (1) 小中一貫したキャリア教育の推進
  - ①平成 2 3 年度に作成した「小中一貫キャリア教育年間指導計画」について、実践を通しながら修正を加え充実させていく。子どもの姿を蓄積し、分析することで系統だった小中を通した子どもの成長を育んでいく。
  - ②「かざこし学習」の実践にあたっては、キャリア教育の願いにそった展開を心がける。
    - 地域資源を活用し、特に人との出会いの場を工夫する。
    - 学んだことを地域に発信するなど、表現活動を大切にする。
    - 活動を通して、常に自分を見つめ、将来へ向けての自分のあり方を考えさせる。
  - ③「飯田型キャリア教育」で育む「5つの力」の視点を大切にして、教科等の実践を積み重ねる。
  - ④キャリア教育小中合同研修会・授業研究会を実施する。
  - ⑤アンケート調査等を通して成果の確認をする。（対象児童・生徒 小 6 中 1、中 2）
  - ⑥キャリア教育小中連絡協議会を開催する。
- (2) 「結い交流プログラム」（児童生徒の交流）や「職員結いプログラム」（教職員プログラム）の充実
  - ①中学校へ向けての夢や心構えを育む「結い交流プログラム」
    - 「かざこし学習発表会」の合同開催
    - 中学校行事への参加（かざこし祭、探鳥会）

- 中学校の先生による出前授業
- 中学校への体験入学（部活動体験、清掃体験、授業体験）
- 児童会と生徒会との交流・活動（西中清掃見学・交流会、あいさつ運動）
- ②中学校へのスムーズな移行や不登校・いじめ問題の解消と未然防止、生徒指導の問題への適切な対応を目的にした「教職員結いプログラム」の充実
- 小中合同研修会
  - ・「学力」「生徒指導」「地域連携」にかかわる小中の課題を明らかにし、連携を深める。
- 小中連絡会
- 幼保小中連絡会
- 小中連携一貫キャリア教育プロジェクト会議

(3) 地域や家庭と連携したキャリア教育の推進

- ①公民館やまちづくり委員会等との連携による地域行事・地域活動への積極的参画の呼びかけ
  - 例) 地区文化祭、地区運動会、大平クリーンキャンペーン、ふれあいコンサート
- ②地域の資源を生かした学習・活動の充実
  - 例) 授業でのゲストティチャーの積極的活用、地域教材による学習の深化
  - 地域の講師によるクラブ活動（丸山小…かざこしタイム）
- ③PTAとの連携による家庭読書、お手伝いの充実      例) 丸山小チャレンジウィーク
- ④公民館と連携してのキャリア教育の検証      例) 丸山・羽場地区成人へのアンケート調査

4 推進日程

No	会議・行事名	内 容
1	第1回小中連携一貫キャリア教育プロジェクト会議（打合せ会） （4月 日）	○丸山小・飯田西中・教育委員会の連携について ○小中連携協議会のあり方について ○推進日程について
2	第1回キャリア教育小中連携協議会 （5月 日）	○キャリア教育の推進方向の確認 ○小中連携・一貫教育の取組について ○合同研修会の持ち方について
3	第1回幼保小中連絡会（5月9日）	○子どもの様子から見る連携の模索
4	第1回小中連絡会（5月13日）	○授業参観、旧担任との懇談
5	第1回キャリア教育小中合同研修会 （6月25日）	○先進地のキャリア教育の取組について ○本年度の研究の方向の確認 ○丸山小・飯田西中のグランドデザインの発表 ○テーマ分科会ごとの話し合い
6	児童会・生徒会交流会 （7月 日）	○委員会の交流 ○共同での活動
7	第2回キャリア教育小中合同研修会 （8月7日）	○事例発表 ○グループワーク ○講演会
8	第41回かざこし祭（9月27日）	○小学生を招待
9	第2回小中連携一貫キャリア教育プロジェクト会議（10月 日）	○合同研修会の意見から今後の具体策の検討 ○小中合同授業研究会について
10	部活動体験 （10月10日）	○会場 飯田西中学校 ○小学6年生が希望部活動の体験を行う

11	小学校6年生児童・保護者むけ学校開放（10月17日）	○飯田東中学校と連携による小学校教育課程研究協議会の開催日を利用した公開
12	キャリア教育小中合同授業研究会（10月 日）	○会場 飯田西中学校 ○内容 未定
13	大平街道クリーンキャンペーン参加（10月26日）	○羽場壮青年会主催の環境活動に小中希望者での参加 ○日曜日を利用した大人を含めた縦割り班によるゴミ拾い活動
14	第2回ふれあいコンサート（ 月 日）	○会場 丸山小学校 ○内容 地域の音楽家による演奏&丸山小金管バンド、西中吹奏楽部によるコラボ演奏
15	かざこし学習発表会（11月18日）	○会場 飯田西中学校 ○参加 丸山小学校6年生 飯田西中学校1・2・3年生 ○全体 キャリア教育から学んだことを発表 ○分科会 各学年の発表、中学生へ質問
16	第2回小中連絡会（11月27日）	
17	中学校の先生による出前授業（11月27日）	○中学校期末テストを利用して中学校の教員が小学校6年生にむけて中学校の授業を実施
18	冬の探鳥会（12月13日）	○小学生への参加呼びかけ
19	第3回キャリア教育小中連絡協議会（1月 日）	○一年間の取組のまとめ ○小中連携・一貫教育の方向の確認 ○来年度の取組について
19	第2回幼保小中連絡会（1月9日）	
20	新入生体験入学・保護者説明会（1月21日）	○中学校授業体験 ○西中清掃体験 ○部活動見学
21	飯田市キャリア教育推進フォーラム（1月 日）	○会場 飯田人形劇場 ○飯田西中学校生徒会役員・職員 参加
22	キャリア教育に関わるアンケート（2月実施）	○対象 丸山小学校 6年生 飯田西中学校 1年生
23	丸山小あいさつ運動（学期1回）	○丸山地区あいさつ運動に合わせて中学生が丸山小にてあいさつ運動を行う。

## 5 地域との連携

○まちづくり委員会や公民館とのキャリア教育を中核にすえた連携推進のための連絡会の定例化  
公民館主事と小中キャリア教育係との話し合い＜実務担当者連絡会＞

## 6 推進に当たっての課題、推進委員会への提案とその根拠

○飯田東中学校区とのすりあわせを進めていくことで、2つの中学校区にかかわる丸山小学校における小中連携・一貫の円滑な進展を図りたい。  
○無理をしないで継続できる活動内容を検討していく。

# 丸山小・飯田西中「小中一貫のキャリア教育」全体イメージ図

## 小中一貫教育のめざす子ども像

ふるさとを愛し、ふるさととともに生きている自分を見つめ、  
ふるさとの未来と私の夢を創造していける子ども

ゆめ

はたらく

ふるさと

① 人とつながる力  
(結いの力)

② 自分を見つめ  
夢や目標を描く力

③ 課題をもって  
最後までやりぬく力

④ 職業や仕事について  
興味や関心を持つ力

⑤ ふるさとのよさに気づき  
自らかかわる力

### かざこし学習

(テーマ)  
ふるさとの未来と私の夢

### 各教科・道徳・特活 総合的な学習の展開

- 職場体験(3日間)
- 地域への貢献活動

#### 中学校3年生

- 自分の個性や能力を考え、そして今の夢を大切に心をと決める ②
- 地域のために多くの方がボランティア活動に参加していることに気づく ④
- 地域のよさを誇りを持って発信できる ⑤

- 生徒会活動・委員会活動
- 高校体験入学 先輩に学ぶ
- 特活・進路を考える

- 職場体験(5日間)
- 乳幼児学級との交流

#### 中学校2年生

- 職業体験を通して自分を見つめ、今後の自分の生き方を考える ②
- 職場体験を通して、働く意味について考える ④
- 生徒会のボランティア活動などに進んで参加しようとする ⑤

- 生徒会活動・委員会活動
- ボランティア活動
- 道徳・勤労の尊さと意義

- 農業体験
- 和菓子づくり

#### 中学校1年生

- 校内のきまりを守り、公平に友だちと接する ①
- 中学での自分の目標を明確にし、目標に向かって努力しようとする ②
- 農業体験を通して、農業という仕事に興味・関心を持つ ④

- 生徒会活動・学級係活動
- 特活・働く人々(職業調べ)
- 道徳・個性や立場の尊重

### 結い交流プログラム(小中学生の交流)

- かざこし学習発表会(キャリア教育実践発表会)
- 西中体験入学・部活動体験 ○西中出張授業
- 西中行事への参加(文化祭・探鳥会)

### 教職員結いプログラム(教職員の交流)

- キャリア教育合同研修会 ○授業研究会への相互参加
- キャリア教育小中連携協議会
- 「結い交流プログラム」推進委員会

#### 6年

- 一日職場体験
- かざこし山登山

#### 小学校高学年

- 児童会の活動において、異年齢の人とも仲良く活動できる ①
- 「結い交流プログラム」への参加を通して、中学校に向けての目標を持つ ②
- 児童会や係の仕事に対して責任を感じ、最後までやり抜こうとする ③
- 「一日職場体験」を通して親の仕事や働くことに興味を持つ ④
- 地域のために働いている人たちの仕事や役割の大切さがわかる ⑤

- 児童会活動・委員会活動
- 学年集会活動 クラブ活動
- 異年齢集団活動
- 家庭・家族の大切さ
- 道徳・自己肯定感

#### 5年

- 丸山米づくり
- 大平学習 OPR活動

#### 小学校中学年

- 自分の考えを進んで発表できる ①
- 友だちとのかかわりの中で自分のよさに気づく ②
- 学習や活動の中で自分なりの目当てや疑問をもつ ③
- 自分たちの生活を支えてくれる仕事があることに気づく ④
- 地域の特色を生かした産業に興味を持つ ⑤

- 係活動 当番活動
- 縦割り行事 クラブ活動
- 社会・まちたんけん
- 体育・大きくなった私の体
- 道徳・身近な人々との協力

#### 4年

- 水引工業・和菓子づくり
- くらしと水

#### 3年

- スーパーで働く人
- くらしを守る人

#### 2年

- 野菜を作ろう(大豆)
- 交通機関で働く人

#### 1年

- アサガオさん
- 学校で働く人

#### 小学校低学年

- 挨拶や返事が大きな声でできる ①
- 自分のことは自分で行おうとする ②
- 朝顔や野菜などを最後まで粘り強く育てようとする ③
- 係や当番の仕事に積極的に取り組み、その大切さがわかる ④
- 地域のお祭りや運動会などに進んで参加する ⑤

- 係活動 当番活動
- 飼育・栽培活動
- 学級集会活動 清掃活動
- 生活・自立への基礎
- 道徳・約束やきまり

### 家庭におけるキャリア教育 「わが家の結いタイム」の推進

- 挨拶 ○会話 ○読書 ○仕事(お手伝い)

### 地域におけるキャリア教育 「地域活動」への参加

- 地域行事(運動会・文化祭) ○ボランティア活動